

経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性の決定について

① デジタル技術が社会や自社の競争環境にどのような影響を及ぼすか

企業の DX 化が進むことで社会のシステムが変わっていくことが推測されます。DX 化が進むことでどのような変化が起きるかについて、以下の事が考えられます。

(1) 企業の業務システムの再構築促進

DX 化が進むことで、企業の業務システムの再構築が促進されていくことが考えられます。これは社会に最も影響を及ぼし、企業の基盤システムから業務システムの変化により業務プロセス自体の変化にも影響をあたえていきます。結果的に、業務の効率化を促進し企業運営の効率化に寄与し、より企業の成長に繋がる変化に期待ができるものとなることは容易に想像できます。

(2) ビジネス環境の変化による新規参入者の発現

DX 化が進むことで、斬新なビジネスモデルを展開することが可能となってきます。この変化により新規参入者が登場し業界の常識を覆すサービスを展開する可能性があり、それによる大きな変化をもたらす事が予想されます。

顕著な例として、タクシー配車アプリの活用が挙げられます。配車アプリを立ち上げて、乗車場所を選択し「今すぐ呼ぶ」ボタンを押すだけで、周辺のタクシーを呼ぶことができるサービスです。迎えにかかるまでの時間を確認でき、乗車前に料金相場を確認することができます。

また Wallet 機能があり、タクシーの後部座席にあるタブレットの QR コードをアプリで読み取ると、目的地に到着する前に支払いを完了することができます。顧客にとっては、急いでいる場合もスムーズに支払いを済ますことができるためストレスフリーな体験を提供しているといえます。他にもアプリによる配食サービス等も DX 化による顕著な参入例に挙げられます。

② 当社の経営ビジョンやビジネスモデルについて

(1) 当社の経営ビジョン

当社の経営ビジョンは「知識を力に」です。知識は得ただけでは何も生まれません。特に DX 化が進むことで「知識」だけでなく「知恵」を身に付けることが重要となります。「知恵」とは、経験を通し「知識」を応用して自分自身で考え、新たな不可価値を付け加えて実践に役立てる「力」なのではないでしょうか。情報化社会と言われて久しい現代、当社では溢れる情報に溺れることなく、「知識」を「知恵」に変えて生活や仕事に生かしていくことを重要視しています。

(2) サブスクリプションビジネスによる収益モデル

当社は介護ソフト販売においてサブスクリプション方式を採用しています。ソフトウェアの「フルサポート」は時代の流れであり、サブスクリプションによる「フルサポート」と会社組織の DX 化によって、より良いサービスを低コストで提供できるようになれば、他社と差別化が可能となり、またサービスを多くの顧客に使って頂くことで、コストを増やさずに収益を飛躍的に伸ばすことも可能となっていきます。